

沼津駅周辺総合整備事業への市債発行 に対する評価と認識は

問 沼津駅周辺総合整備事業の実施に当たり、本市の財政規模と比較して、新たに三百三十億円の市債を発行することに対する評価と認識は。

答 沼津駅周辺整備部長／市債の借り入れについては、事業期間の二十年間において事業の進捗に合わせて順次行い、償還期間の二十年間を含め、四十年間で返済していく計画であるため、一年間の予算額と市債の合計額を単純に比較することは妥当でないと考えている。また、四十年間における一年当たりの平均実質負担額は、九億一千万円であり、本市の財政規模に照らし合わせても、決

問 市長が、鉄道高架事業の完成を待ち望む多くの市民の声があるとする根拠は。

答 沼津駅周辺整備部長／平成三十年四月の沼津市長選挙では、本事業が明確な争点となり、鉄道高架推進派の得票数は反対派を多く上回ったことから、鉄道高架によるまちづくりが支持されたものと認識している。また、都市計画決定等の手続を経て既に事業着手し、用地取得は全体で九割に達していることなどから、本事業の推進について多くの市民の賛同を得ているものと認識している。

地区防災計画、防災士の育成に対する 認識は

問 防災対策について、地区防災計画制度と、防災士の育成に対する本市の認識は。

答 危機管理監／本計画は、災害対策基本法に基づき、地域住民等が自助、共助の観点から地域の防災活動について定めるものである。そのため、継続して取り組むことにより、計画作成が地域活動の定着につながることから、防災を基軸とした地域活動の活性化において、非常に意義のあるものと認識している。防災士には、防災指導員とともに地域の防災活動を牽引する役割が期待できると認識しているため、育成に当たり、

問 沼津市スポーツ推進基本計画に対する評価と、計画の見直しに対する認識は。

答 教育次長／本計画による取り組みの結果、継続的にスポーツを行う成人の割合の増加など、一定の効果が得られたと認識している。本計画の見直しについては、平成三十年度に実施した各事業の点検や市民アンケート、新体力テストの結果等を踏まえ、計画策定時に諮問を行った沼津市スポーツ推進審議会の意見を聞き、検討していきたいと考えている。

城内 務 形式 一問一答

梅沢 弘 形式 一問一答

温室効果ガス削減の実績は

問 温室効果ガスの削減について、本市の事務事業と、市域における実績は。

答 生活環境部長／本市の事務事業においては、基準年度である平成二十六年に對し、平成二十九年の実績は、市長部局では約十一％、教育委員会部局では約六％の削減となった。市域においては、平成二十三年三月の東日本大震災により、二酸化炭素を多く排出する火力発電の比重が高まった影響を受け、目標を下方修正したが、直近のデータである平成二十六年と基準年度である平成二十二年を比較し、約二％の削減と

問 新中間処理施設においては、ごみの処理量が増えるにもかかわらず、二酸化炭素排出量を削減できるとする理由は。

答 生活環境部長／環境省が定めた廃棄物処理部門における温室効果ガス排出抑制等指針マニュアルを用いた試算では、設備更新による電気機器の処理効率の向上により、助燃剤使用量が減少することで二酸化炭素排出量が削減できる見込みであり、発電設備設置等の他の設備更新と合わせて二酸化炭素排出量を削減できると考えている。

江本 浩二 形式 一問一答

地震津波対策における基本的認識は

問 本市の地震津波対策における基本的な認識は。

答 危機管理監／本市では、沼津市地震・津波対策アクションプランにより、人的被害の最小化を目指すべく、さまざまな取り組みを進めており、平成三十年度は、津波浸水想定区域に点在する避難困難地区の解消を図るための対策を検討してきた。今後は、このような対策を効果的に実施しながら、人的被害ゼロを目指していきたいと考えている。

問 防潮堤の整備は防災の骨格を形成するものであり、安全なまちづくりに不可欠と考えるが、次期沼津市

総合計画に位置づける考えは。

答 危機管理監／本市の総合計画は、市民と行政の共通の目標となる本市の将来像と、それを実現するためのまちづくりの方針を明らかにするものであり、防災対策についても、まちづくりの一環として基本的な考え方を示していくことになる。防潮堤整備に関しては、まずは、その是非について、各地区の意見集約の取り組みを進めることが必要であると考えており、整備の効果と整備による日常生活への影響等を踏まえながら、総合的に検討すべき重要な課題であると認識している。

中田 孝幸 形式 一問一答